

海洋環境こどもクルーズ 広島湾+1宣言～

第六管区海上保安本部では、広島県及び中国地方整備局広島港湾空港整備事務所と共催して、広島県内の小学校高学年の児童を対象とした、「海洋環境こどもクルーズ」を実施しました。

これは、21世紀を担う子供達が、巡視船への乗船学習などを通じて海洋環境保全の重要性を認識し、青く豊かな海を未来に残すための推進力になることを企画し平成13年から行っているものです。

平成23年度も夏休み期間中の8月20日土曜日に、広島県内の小学4,5,6年生及び保護者61名が参加し、江田島市教育委員会生涯学習課大柿自然環境体験学習交流館の講師による講話を聞いた後、水の分析実験を行い、巡視船「いさづ」に乗船し広島湾内の乗船学習を行いました。

乗船学習中は、船内を見学をしたり、甲板上に出て広島湾の透明度を測定したり、測量船「くるしま」による水質調査の状況や海面清掃船「すいようⅡ」の活動を見学しました。

参加した子どもたちからは「海をきれいにするには川もきれいにしなければいけない」「自分で出来ることを考えたい」等の感想が聞かれました。

この機会に参加者は「広島湾+1宣言」を実施しました。

